

奥会津ミュージアム連携企画

ドキュメンタリー映画上映会

山里は 持続可能な 世界だった

原村政樹 監督作品

かつて村人たちは自然を壊さずに暮らしていた！
そこに豊かな未来を築くための大切な知恵がある

日時：2月24日(土)13:00開場
場所：三島町交流センター山びこ



定員100名
参加無料

主催：只見川電源流域振興協議会 担当：奥会津 FDS/奥会津書房 問合せ：0241-52-3580

※この事業は、「電源立地地域対策交付金」により実施されています。

山里は貧しく寂しく何もないと人びとは 街へ街へと移り住んでいった しかし本当にそうなのだろうか？

出演者インタビュー

千島信行

厳しい時代だったけれど、
勢いのあった時代だったね。



監督メッセージ

高度経済成長以前の山里の暮らしは環境と共存する社会だった。

それは山を慈しみ 山と共にある暮らし。そして村人たちは助け合いながら暮らしていた。

そこで当時を記録した膨大な記録写真を手掛かりに、当時を生きた人達と当時の生業の継承者達の話に耳を傾け、持続可能な共生社会を築くためのヒントを伝えたい。



鈴木久恵

子供の頃から家の仕事を手伝うことは
当たり前になっていた。

原田政雄

昔は集落に獣が出たなんて話は
聞いたことが無かった。

瀬能紀夫

暮らしに欠かせない薪は
皆で分け合って暮らしていた。

黒田豊昭

森の生き物と共存できる林業を
江戸時代から続けてきた。

笠原好男

すぐに壊れる製品を注文する大手
ホームセンターの注文を断った。

久米悠平

歴史的に重要な役割を果たして
きた生業を消滅させたくない。

菅家藤一

風雪に耐えて育つ山の恵みに
感謝しながら必要な分だけを採取する。

山中正彦

50年後、林業が復興することを
願って山の整備を続けている。

上映会プログラム

13:00 開場・受付

13:30 奥会津の山林について 渡部一也氏(一般社団法人 奥会津 FDS)

13:45 上映「山里は持続可能な世界だった」

15:00 対談 原村政樹監督×渡部一也氏

16:00 閉会

本編後半では、菅家藤一さん(三島町)が出演されています。原村監督は、現在、菅家さんの日常を通して、山と共生する暮らしの実態を見つめる次作に向けて、取材・撮影を続けておられます。是非ご高覧ください。